

# きらめき NEWS

VOL. 3 (2022. 3)

◆非認知能力の育成は、人生に良い影響を及ぼします

○「非認知能力」とは  
非認知能力は、知能指数IQなど数値で測ることのできる認知能力以外の能力を言います。

具体的には、自分でやり方を工夫し、友だちなどと協力しながら粘り強くやり抜く力につながる、やる気、協調性、



秋吉台国際芸術村（美祢市）では、園児を対象に、将来の学力や学歴、収入などにつながるといわれる「非認知能力」を育てるプログラムをスタートさせました。

## 秋吉台国際芸術村 「非認知能力」を育てる プログラムを始めました

忍耐力、自制力などです。この非認知能力が育つことによって学力などの認知能力が育ち、自制力の向上により不正を行わない心が育ちます。

○幼少期に身につける必要があります  
幼児のうちに言葉が身につくように、非認知能力も幼児期から小学校低学年までに大きく発達するため、この時期に伸ばしておく必要があります。

○効果は生涯にわたって続きます  
幼少期での非認知能力を育成する取組の効果は、生涯にわたって継続すると言われています。

ノーベル賞を2000年に受賞されたヘックマン教授（米国）の研究では、就学前から40歳まで追いかけて調査し、就学前教育の有無によって、学力、学歴、収入、逮捕者率などに大きな差が生じていることを明らかにしました。

この研究の就学前教育では、自分で考えた遊びを実践して毎日復習するよう促し、子どもの自発性を大切に活動

### ◆非認知能力を育てるプログラムを実施しました



○秋吉台国際芸術村で実施します  
秋吉台国際芸術村のある美祢市内の幼稚園・保育所は、園児の人数が少なく、広い場所もないことから、高い天井と広い部屋のある芸術村に園児が集まり、非認知能力を育てるプログラムを実施することとなりました。

プログラムには市内13のうち11の園が手をあげられ、昨年12月に5歳児を対象にテスト開催となりました。

○国から推奨されている取組です  
非認知能力は、ヘックマン教授の研究以降、世界的に注目されていますが、日本でも、幼稚園や幼保連携型認定こども園、保育所を担当する文部科学省や厚生労働省から、幼児期での育成の重要性が示され、取組が推奨されています。

を中心としました。（ジェームズ・J・ヘックマン著「幼児教育の経済学」）

## 県民活動団体などに講師・アドバイザーを派遣しています



講師 加登田 恵子さん  
(山口県立大学学長)

民生委員・児童委員を対象に「地域で守ろう子どもの安全と安心」をテーマに、講演された様子をご紹介します。

はじめに、昨年8月、大阪府摂津市で3歳の男の子が熱湯をかけられて死亡し、母親と交際相手が逮捕された事件を紹介します。

この事件には、家族崩壊や虐待の連鎖、貧困など複合的な問題があり、周りは気づいていません。

虐待には、身体的・性的・心理的虐待とネグレクト（育児放棄）があります。2014年度に虐待で亡くなった子どもの約6割は0歳児、赤ちゃんは生命の危険に直面しています。

大声で怒鳴ったり泣いたりする声が聞こえるほか、皆さんには、一人でうろついている、おどおどしている、無表情、薄汚れた服を着ているなど、子どもの変化に気づいていただきたいと思います。特に、転勤が多い家庭の子どもの異変には気づきにくいので、注意が必要です。

気づいたときには、民生委員・児童委員で情報交換し、園や学校、市役所、児童相談所に通報や相談をお願いします。



専門の講師・アドバイザーが、団体の立ち上げや組織運営、相談員の研修、職場の女性活躍などにアドバイスを行っています。派遣の経費は無料ですので、お気軽にご相談ください。登録講師・アドバイザーのリストはこちら <http://www.y-kirameki.or.jp/jgyoannai/koushi-adviser>

## 山口きらめき財団をご支援ください

### \*「ご寄付」のお願い

当財団では、多くの企業や県民の皆様からのご寄付により、幅広い分野の県民活動を支援しています。当財団へのご寄付に、ご協力をお願いいたします。

#### 寄付の方法

手数料無料の専用の振込用紙でお振込みいただけます（振込用紙は当財団にご請求ください）

#### 《助成した活動の紹介》

子ども達の好奇心を伸ばす写真講座

田舎のほっとルーム  
LinkSmile 米光（周南市）



### \*「賛助会員」加入のお願い

当財団の取組を応援して下さる賛助会員を募集しています。ご協力をお願いいたします。

年会費 2,000円

#### 申込方法

手数料無料の専用の振込用紙で会費をお振込みいただけます（振込用紙は当財団にご請求ください）

#### 《財団の取組》



県民活動団体の支援



男女共同参画の推進

■当財団へのご寄付や賛助会費は、寄付金として税の優遇措置を受けられます。詳細は、当財団へお気軽にお問い合わせください。

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”  
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0082  
山口市水の上町1番7号 水の上庁舎2階  
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096  
Eメール info@y-kirameki.or.jp





セミナー・イベント レポート

■企業ボランティア活動促進モデル事業所(11月)

企業の社会貢献活動を進めるため、社会貢献活動やボランティア活動を行う従業員への支援などを積極的に行う県内企業を、モデル事業所に指定しています。

令和3年度は、新たに7事業所がモデル事業所に指定され、87事業所となりました。



■心の境界線と心の守り方 (11月)

グリーンサポートやまぐち(防府市)の主催により、DVや虐待などの心の問題を考える講演会・パネルディスカッションが開催されました。

自分と相手方とを分ける「心の境界線」が対等でない、相手をコントロールしたり相手の言いなりになるなど、DV・虐待等につながることや、対等な関係性を保つための「心の守り方」についてアドバイスがありました。

また、会場とオンラインに分かれて参加された様々な職種の皆さんからの質問にも答えながら、ディスカッションが進められました。



■団体の活動を学生に紹介(12月)

当財団では、活発に活動されているながら会員の高齢化等により活動の継続が心配される団体の支援に取り組んでいます。

この日は、紙人形劇団ネリノ(宇部市)の皆さんが、山口芸術短期大学の学生90人を前に紙人形劇「金色の足あと」を上演され、人形劇のすばらしさを紹介されました。

上演の後、会員一人ひとりにインタビューしながら、人形劇の楽しさ、苦勞、失敗などを紹介していただきました。学生の皆さんからも活発な質問が寄せられ、後片付けも手伝っていただきました。

これを機に、学生2人から団体に、詳しい話を聞きたい、活動を見てみたいという話が寄せられています。



園の先生方が観察・記録されています。

広い部屋には、子どもたちの明るい声が響き、参加した69人の子どもの声は、違う園の新しいお友だちと日頃にならない広い空間の中で、ボールプールや積み木、粘土、段ボール、お絵かきなど、型にはまらない遊具で思い思いに遊び、その行動を各

境を整えました。また、幼児教育を専門とする山口大学教育学部の白石敏行教授のご指導をいただき、子どもたちが自分の考えや力で試行錯誤しながら、またお友だちと力を合わせながら、自由に遊びに没頭できる環境を整えました。



○テスト開催しました  
テスト開催の当日は、美祢市にもご協力をいただき、園児の送迎を担当していただきました。

○本格実施を目指します  
このプログラムには、子どもたちの非認知能力の育成だけでなく、お友だちづくりや小学校前の顔合わせの場として、さらに先生方の情報交換や勉強の場としての効果も期待しています。



園児が集まって行うプログラムのため、新型コロナウイルスの影響で、令和3年度では、1回しか開催できませんでした。4歳児と5歳児が最大月1回のペースで参加できる本格実施を目指しています。



○多くの効果が期待されます  
このプログラムには、子どもたちの非認知能力の育成だけでなく、お友だちづくりや小学校前の顔合わせの場として、さらに先生方の情報交換や勉強の場としての効果も期待しています。



「きらめき活動助成事業」の募集

現在、令和4年度の申請を受け付けています

《助成プログラム》

①自立支援「ゆめ」プログラム

- 対象：団体の立ち上げ・自立をめざす活動
- 助成金額：20万円以内/助成率1/2

②課題解決支援「はな」プログラム

- 対象：地域の社会的課題を解決する活動
- 助成金額：50万円以内/助成率2/3

③文化芸術支援「つむぎ」プログラム

- 対象：秋吉台国際芸術村を活用した文化芸術活動
- 助成金額：50万円以内/助成率2/3

《応募方法》

申請用紙に必要事項を明記し、添付書類を添えて直接持参、または郵送、メールによりお申込みください。

応募期限：令和4年3月31日(木)

■募集の詳細は、当財団へお問い合わせください。

県民活動紹介

団体名 NPO 法人リアシエル(宇部市)

一どのような活動をされていますか。

重症心身障がい児者の日常を支え、障がい児者やその家族が楽しく参加できるイベントの開催や、誰も孤立することがないように情報共有等に努め、より一層地域での暮らしや生きがいが未来につながるように活動しています。

一助成金をどのように活用されましたか。

重症心身障がい児者とその家族が、地域住民と一緒に楽しむ「地域交流スポーツレクリエーション」を開催しました。地域住民や学生ボランティアが障がい児者と一緒に様々な競技を行い、喜びや楽しさを共有しました。

また、活動を知ってもらうためにポスターとリーフレットを作成し、公共施設やスーパーなどに設置しています。



教育機関と連携して未来の人づくり

秋吉台国際芸術村

秋吉台国際芸術村では、園児から大学生までを対象に、文化芸術を通じた人材育成に取り組んでいます。

園児「非認知能力を育成するプログラム」

自分で考え自分で行動する遊びの中で、子どもが伸びると言われている非認知能力を育てる取組を行っています。



小中学生「きらめき音楽教室」

バイオリンの演奏体験や音楽鑑賞、小中学校で習うリコーダーによる本格的なコンサートの鑑賞などの機会を設けています。



高校生「クラブ活動支援」

著名な講師による生徒や指導者を対象とした講習会など、学校のクラブ活動を支援しています。



大学生「芸術人材育成プログラム」

芸術分野の学部学科を有する東亜大学、山口芸術短期大学と協働で、秋吉台国際芸術村のフィールド全体を活用したワークショップなどを実施しています。

